



2023年 第71号
令和5年10月26日発行

おみたま市議会だより



Contents

- 議長挨拶 P 2
- 第3回定例会決算認定 P 3
- 決算特別委員会 P 4 - 5
- 審議結果一覧 P 6 - 7
- 常任委員会 Q & A P 8
- 一般質問 P 9 -15

令和5年10月7日(土)、「第1回おみたま花火大会」が大井戸湖岸公園にて開催され、5,000発の花火が打ち上げられ夜空を鮮やかに彩りました。

令和5年 第3回定例会 ～令和4年度の決算を審査～

8月30日～9月19日「決算議会」を開催

令和5年第3回定例会は、8月30日から9月19日までの21日間の会期で開かれ、令和4年度決算議案を含む28件の議案等を審議しました。健全化判断比率等の説明を受け、市財政の健全度を確認するとともに、決算議案は特別委員会での審査のあと、本会議で採決を行いました。(審議結果は6、7ページ)



▲小美玉市議会議場にて

最終定例会を終えて

小美玉市議会議長 荒川 一秀

私たちは、令和元年12月より4年間、市議会議員として市政に携わって参りましたが、11月30日を持ちまして任期満了となり退任いたします。これまで市民の皆様方には議会活動に対しまして、多大なるご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

私は議長として、日々「和を以て貴しと為す」「広く会議を興し万機公論に決すべし」を信条とし議会運営に取り組んで参りました。短い間でありましたが、私が議長として職務を全うさせていただきましたことができましたのも同僚議員、そして島田市長をはじめ執行部の皆様、関係者の皆様方の温かいご理解とご協力の賜物と、感謝申し上げます。

任期中は、「議会の憲法」と称される、「小美玉市議会基本条例」の基本理念である「市民の付託に応えうる開かれた議論に基づく公平公正な議会」を目指し、議会改革を積極的に推し進めるとともに、議会活動の活性化を図るべく全議員一丸となって議会運営を図って参りました。

この間、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、感染拡大により、社会・経済を大きく揺るがしました。

市議会においては、コロナ禍における接触機会の軽減及び新たな生活様式へ向けて、開かれた議会の実現を目指すため、議会映像のインターネット配信を開始し、パソコンやスマートフォンから本議会の模様が視聴出来るようになるなど、議会改革を推進して参りました。

市政と共に手を携え、JR羽鳥駅橋上化、小美玉市医療センターの新築移転、玉里学園義務教育学校・小川北義務教育学校の開校、よつば幼稚園が開園するなど市民生活の向上に向けての多様な取り組みを進めて参りました。

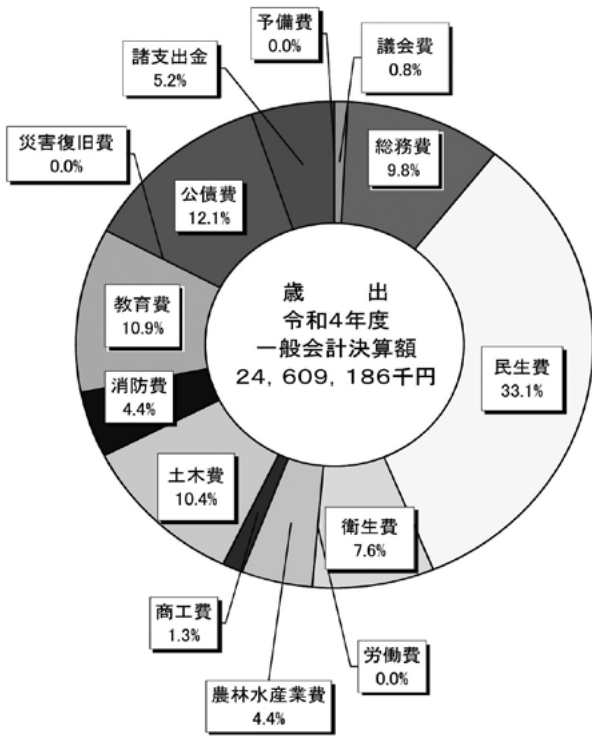
今後、小美玉市を取り巻く状況は、地球規模の観点から経済・環境問題等への対応が求められており、国内経済・地域社会の活力が損なわれないよう少子高齢化時代における効果的かつ効率的な行政サービスを描いていかなければなりません。

残りわずかとなりました在任期間の中で、議会そして議員個々の活動を通じて、引き続き、市民の皆様の声伝えていけるようその責務を全うして参りますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。4年間、誠にありがとうございました。

4年間、誠にありがとうございました。

決算認定及び市財政の健全化判断比率状況

一般会計 歳出（目的別）



令和4年度 会計別の決算額

会計別	歳入(万円)	歳出(万円)	歳出の前年度比(%)	
一般会計	254億4,287	246億918	10.3 ↓	
特別会計	国民健康保険	51億5,137	50億6,470	2.4 ↑
	後期高齢者医療保険	6億5,001	6億4,794	7.0 ↑
	農業集落排水	3億3,031	3億1,995	2.1 ↑
	戸別浄化槽	4,601	4,190	19.3 ↑
	霊園	3,224	3,152	186.5 ↑
	介護保険(事業)	41億4,255	40億2,963	0.1 ↑
	介護保険(サービス)	1,005	823	107.3 ↑
合計	358億540	347億5,306	7.0 ↓	
企業会計	水道 収益的収支	8億8,670	8億1,688	1.2 ↑
	水道 資本的収支	6億1,064	9億4,551	11.8 ↑
	下水道 収益的収支	11億9,418	10億9,249	2.7 ↓
	下水道 資本的収支	6億4,410	10億471	6.4 ↓

実質公債費比率 6.4%

年度別	小美玉市		県平均	早期健全化基準
	比率	順位		
R 3	6.7%	20位	6.3%	25% (18%)*
R 2	7.3%	24位	6.5%	
R 1	7.6%	25位	6.7%	

(順位は、県内44市町村の数値の低いほうからの順位)
*早期健全化基準が18%に達した場合は、新たな借金をする際に県の許可を要するなどの制限がある。

将来負担比率 20.1%

年度別	小美玉市		県平均	早期健全化基準
	比率	順位		
R 3	42.3%	28位	28.8%	350%*
R 2	60.5%	30位	39.4%	
R 1	64.5%	31位	41.9%	

(順位は、県内44市町村の数値の低いほうからの順位)
*将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率。



実質公債費比率は、市の借入金に関わる指標です。市が直接借りたお金だけでなく、間接的に借りたとみなされるもの（ごみ処理施設組合が設備更新のため借入したことに対して、市が負担金を出した場合など）も含めて、その年の返済額が、その年の使い道が自由な収入に占める割合を出し、直近の3年間で平均したものです。25.0を超えると早期健全化基準（イエローカード）、35.0を超えると財政再生基準（レッドカード）に該当し、財政破綻の危機があるため県の許可なく市債の借入ができなくなったり、財政再生計画を国に提出し、財政を立て直したりする必要があります。



将来負担比率は市の借入金をはじめとした将来に渡り支払わなくてはならない費用（負債）の総額が、1年間の収入規模の何倍になるかを示した指標です。家計に例えると、住宅ローンなどの残高が年収の何倍になるかを表しています。国が定める基準は350%未満とされており、この基準を超えると財政健全化計画を国に提出し、事業や組織の見直し、収入の確保など、より厳しい財政改善が求められます。

9月定例会は、市長から提出された令和4年度決算議案の審査を行うため、9月11日決算特別委員会を開催しました。議長と監査委員を除く委員で構成され、質疑通告制により慎重に審査を行いました。委員からどのような質疑や要望があったのか、その一部についてお知らせします。

決算特別委員会で審査

議員

ワクチン接種者の予測に対し、実施率は想定に近くなっているか。今も感染者は減少しておらず、接種のメリット周知がより必要と思う。対策についての見解はどうなっているか。

回答

令和4年度の接種計画では、接種者総数61,264人、接種率74.2%で想定していたが、実績は58,127人、接種率70.4%であった。想定より4%程度低いものの、高齢者や基礎疾患を有する方等を対象とした3回目以降の追加接種率は想定通り60%接種率で実施した。厚労省の啓発資料によると、秋以降の接種に用いるワクチンは、重症化予防効果はもとより発症予防効果の向上が期待されると考えられている。本市も引き続き、予防接種と感染予防について広く周知していく。

決算議案

新型コロナワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策として、市民に迅速で安全な新型コロナウイルスワクチン接種を推進するための体制整備を実施する。

決算額 2億2,175万227円



議員

手数料と委託料の内容は。

回答

手数料は、主に各種ポータルサイトを介した寄附について、手数料を運営会社に支払うもの。その他、クレジットカード決済に伴う手数料、返礼品配送にかかるシステム連携手数料、税控除関係の処理手数料等となる。委託料は、ふるさと納税にかかる運営業務を委託したもの。主な業務内容は、寄附情報管理、返礼品の在庫及び配送管理、返礼品ページの制作、ポータルサイトの運用、返礼品の新規開拓、寄附者及び返礼品提供事業者からの問い合わせ対応等となる。

決算議案

ふるさと寄附金事業

市及び市の特産品をPRし、ふるさと応援寄附を募ることにより、市の知名度向上並びに地域振興を図る。

決算額 1億5,488万2,853円



▲決算特別委員会議案審査

決算議案

高齢者等ごみ出し支援事業

高齢者等で家庭でのごみ出しが困難な世帯に対して、ごみ出し支援を行う行政区へ交付金を交付する。また、これにより住んでいる行政区とのつながりを深め、見守り活動や行政区の脱退防止を目的とする。

決算額 11万3,650円

議員

当初予算に対しての執行率を見ても、事業の方向性には大きな課題があると思うが来年度予算編成における課題を伺う。

回答

高齢者等ごみ出し支援事業については、令和4年度にモデル地区を選定し、試験的に事業を開始、令和5年度より本格的に事業を開始したところである。直近の課題として、事業の周知及び地域住民の協力が必要不可欠となっている。周知は、区長便を活用したチラシの配布及び、民生委員や福祉委員へ説明会等を開催することで、広く周知できるよう努めていく。

決算議案

元気わくわく支援事業

ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対して見守り支援を含めた、生活支援を行うことで、高齢者福祉を推進し安心して生活できる地域社会づくりを目指す。

決算額 339万5,943円

議員

減額理由に対象者を精査したとの記載があるが、どのように精査したのか。

回答

愛の定期便事業の利用申請時にはチェックリストにより生活状況を確認し、見守りが必要な対象者であるか判断している。他の見守り事業を利用している場合は対象者から除いている。

決算議案

合併特例推進事業

町村合併による行政区域の拡大により、市民生活の行動範囲が広がったものの、その移動手段は自家用車に依存することになるため、高齢化社会を踏まえた、交通弱者に対応するため、快適な移動手段の確保を目的とする。

決算額 5,770万4,033円

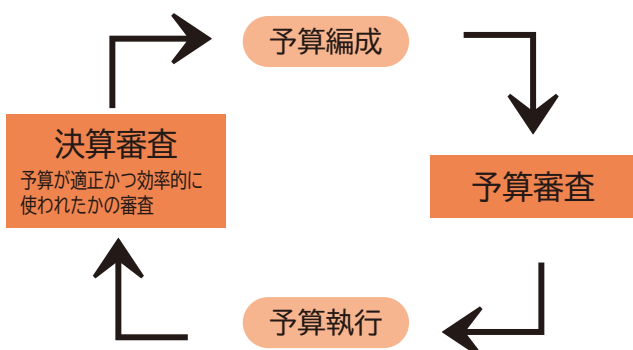
議員

コミュニティバス利用実績について利用実績は増えているのか、順調なのか。また、集客の無い時間帯の運行変更を精査しているか。具体的な取り組みについて伺う。

回答

利用者数は、令和2年度23,119人、令和3年度27,824人、令和4年度41,694人と増加している。利用者の少ない時間帯やルートに対しては、今後、地域公共交通会議に図りながら改善をしていく。

決算審査は、次年度予算編成につなげるための大事な審査です。ここでの審査を踏まえ、予算編成し、予算審査を経て、事業が実施されます。このようなサイクルを繰り返し、市政運営のさらなる向上が図られます。



議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
■条例（3件）				
43	小美玉市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	生活保護における医療扶助のオンライン資格確認の導入に伴い、生活保護法に準じて実施する生活に困窮する外国人に対する保護の措置に関する事務において、新たに個人番号を利用するため所要の改正を行うもの	文教福祉	可決
44	小美玉市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例について	小美玉市立元気っ子幼稚園と小美玉市立玉里幼稚園の統合に伴い、小美玉市立玉里幼稚園を廃止するため、所要の改正を行うもの	文教福祉	可決
46	小美玉市火災予防条例の一部を改正する条例について	国の示す省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	産業建設	可決
■補正予算（9件）				
47	令和5年度小美玉市一般会計補正予算（第4号）	[補正額] 2億1,191万4千円 [補正後額] 230億 749万5千円	各委員会	可決
48	令和5年度小美玉市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	[補正額] 2,208万6千円 [補正後額] 52億6,394万円	文教福祉	可決
49	令和5年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）	[補正額] 339万9千円 [補正後額] 6億9,297万6千円	文教福祉	可決
50	令和5年度小美玉市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	[補正額] 279万8千円 [補正後額] 3億2,386万3千円	産業建設	可決
51	令和5年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	[補正額] 527万7千円 [補正後額] 1億3,304万1千円	産業建設	可決
52	令和5年度小美玉市霊園事業特別会計補正予算（第1号）	[補正額] 21万6千円 [補正後額] 1,522万7千円	総務	可決
53	令和5年度小美玉市介護保険特別会計補正予算（第1号）	【保険事業】 [補正額] 2億1,019万3千円 [補正後額] 42億1,135万4千円 【介護サービス】 [補正額] 181万8千円 [補正後額] 971万8千円	文教福祉	可決
54	令和5年度小美玉市水道事業会計補正予算（第1号）	【収益的収入及び支出】 支出 [補正額] △ 92万9千円 [補正後額] 8億5,231万7千円	産業建設	可決
55	令和5年度小美玉市下水道事業会計補正予算（第1号）	【収益的収入及び支出】 収入 [補正額] △321万8千円 [補正後額] 11億8,575万1千円 支出 [補正額] 112万1千円 [補正後額] 11億4,785万2千円	産業建設	可決
■諮問（3件）				
1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	任期満了に伴い、木村 利夫 氏を再推薦するもの	—	同意
2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	任期満了に伴い、藤田 みち子 氏を再推薦するもの	—	同意
3	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	欠員に伴い、大場 厚子 氏を推薦するもの	—	同意

議案に対する主な質疑

●議案第45号

【小美玉市給水条例の一部を改正する条例について】

問

給水料金について、基本料金、従量料金及び水量水器使用量の額の改定との内容で、何故料金の変更をしなければならないのか。

答

小美玉市の水道料金は、平成21年1月に小川地区と美野里地区の水道料金を統一して以来、茨城県内の42事業体のうち8番目に安い料金水準を維持してきたが、少子高齢化の進行による水道料金収入の減少、原油や電気料の高騰、老朽化した水道施設の更新、大規模災害に対応できる水道施設の耐震化などの経営課題から、厳しい財政状況にある。

こうした状況の中で、将来にわたって安定的に水道を供給するためには、計画的に老朽化した水道施設の更新と耐震化が不可欠であり、必要な資金を確保し健全な水道事業経営を行うため、水道料金の20%の引き上げを行うものである。

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
■決算（5件）				
59	令和4年度小美玉市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	【収益的収入及び支出】 〔歳入〕 3億3,030万7千円 〔歳出〕 3億1,995万2千円	決算	可決
60	令和4年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について	【収益的収入及び支出】 〔歳入〕 4,601万3千円 〔歳出〕 4,190万3千円	決算	可決
61	令和4年度小美玉市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	〔歳入〕 3,224万円 〔歳出〕 3,152万4千円	決算	可決
63	令和4年度小美玉市水道事業会計決算認定について	【収益的収入及び支出】 〔歳入〕 8億8,669万7千円 〔歳出〕 8億1,688万4千円 【資本的収入及び支出】 〔歳入〕 6億1,063万5千円 〔歳出〕 9億4,550万7千円	決算	可決
64	令和4年度小美玉市下水道事業会計決算認定について	【収益的収入及び支出】 〔歳入〕 11億9,418万円 〔歳出〕 10億9,249万4千円 【資本的収入及び支出】 〔歳入〕 6億4,410万円 〔歳出〕 10億 470万5千円	決算	可決

■請願（1件）

2	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	請願者：茨城県教職員組合 執行委員長 中山 幸男 紹介議員：戸田 見良	文教福祉	採択
---	---	--	------	----

■その他（2件）

65	指定管理者の指定について	小美玉市健康増進施設（小美玉市小美玉温泉ことぶき）を管理する指定管理者を指定するため、この案を提出するもの	文教福祉	可決
66	市道路線の認定について	開発による宅地分譲に伴い造成された道路を市道羽鳥1661号線として認定するもの	産業建設	可決

【賛否が分かれた議案等】（5件）

※議長は採決に参加しません。

No.	議案に対する賛否 (賛成：○・反対：●)																				付託委員会	審議結果	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19			20
		山崎 晴生	真家 功	戸田 見良	香取 憲一	長津 智之	島田 清一郎	鈴木 俊一	村田 春樹	欠 員	石井 旭	谷仲 和雄	長島 幸男	岩本 好夫	福島 ヤヨヒ	小川 賢治	大槻 良明	田村 昌男	市村 文男	荒川 一秀	野村 武勝		
45	小美玉市給水条例の一部を改正する条例について	給水料金について、基本料金、従量料金及び量水器使用料の額を改定するため、所要の改正を行うもの																			産業建設	可決	
56	令和4年度小美玉市一般会計歳入歳出決算認定について	〔歳入〕 254億4,287万1千円 〔歳出〕 246億918万6千円																			決算	可決	
57	令和4年度小美玉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	〔歳入〕 51億5,136万9千円 〔歳出〕 50億6,469万8千円																			決算	可決	
58	令和4年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について	〔歳入〕 6億5,000万8千円 〔歳出〕 6億4,793万4千円																			決算	可決	
62	令和4年度小美玉市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	【保険事業】 〔歳入〕 41億4,254万5千円 〔歳出〕 40億2,963万2千円 【介護サービス】 〔歳入〕 1,004万7千円 〔歳出〕 822万8千円																			決算	可決	

小美玉市議会は3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）を設置しています。議員はいずれかの委員会に属して議案審査にあたります。9月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

◎は委員長、○は副委員長

総務

委員 取田 本井 家
委員 ◎香戸 岩石 真

◆ 令和5年度 小美玉市一般会計補正予算(第4号) 【議案第47号】
企業版ふるさと応援に対する指定寄附金はどこからの寄付金か。

答 株式会社サシノベルテ、株式会社トーホー測研、岡田飯金株式会社の3社で400万円となっている。

問 公用車入れ換えにおける規定は。

答 今年度、公用車整備計画を策定し、順次入れ換えを予定している。

問 文書法制管理事務費の条例等整備業務委託料の詳細は。

答 マイナンバー法の改正により、マイナンバーの利用範囲の拡大、マイナンバーの利用及び情報連携に係る規定の見直し、マイナンバーカードと健康保険証の一体化、マイナンバーカードの普及利用の促進、戸籍等への氏名のふりがなの追記と、公金受取口座の登録促進の6項目についてそれに関与する市条例、規則等を見直すものがある。



▲総務常任委員会研修（委員会終了後）（RPA・AI-OCR導入業務について）

文教福祉

委員 田田 村島 仲木 崎
委員 ◎村島 市福 谷 鈴 山

◆ 令和5年度 小美玉市一般会計補正予算(第4号) 【議案第47号】
元気づ幼稚園と玉里幼稚園の統合により、玉里幼稚園の跡地活用についてどのように考えるのか。

答 公共施設建築物系個別施設計画に基づき、令和8年度解体予定である。解体後の跡地は検討中である。

◆ 令和5年度小美玉市介護保険特別会計補正予算 【議案第53号】
認定調査委託費が増えていく要因として、専門職が調査件数に追いつかないと捉えるが、どう考えるか。

答 期間延長がなく、また新規申請が増えたことが要因の一つである。専門職については今年度新たに3名採用するなど、適切に調査を進められるよう対応している。



▲付託議案の審査（9月14日）

産業建設

委員 島津 村村 槻 川
委員 ◎長野 田 大小

◆ 小美玉市給水条例の一部を改正する条例について 【議案第45号】
企業債の償還計画は。

答 財政融資資金、地方公共団体金融機構からの企業債であり償還期間は30年間で返済する計画である。

◆ 令和5年度小美玉市一般会計補正予算(第4号) 【議案第47号】

問 農地調整事務費について今回補正で提出した農業台帳履歴閲覧システム委託料に切替えた場合、将来的にどのくらい予算が削減できるのか。

答 導入後、4年間で委託料の支払いと相殺が可能となり、5年目以降は費用が完全に発生しない状態となる。

問 台風2号による大雨警報被害の処理件数は。

答 発生件数332件、対策済み及び対策中については315件となり全体の約95%が対策中である。



▲付託議案の審査（9月15日）

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

一般質問

13名

市政を質す!



皆さんの生活にかかわる大切な内容について、
市議会議員が市に対して行う質問です。

- P 9 福島 ヤヨビ
- P 10 島田 清一郎
- 戸田 見良
- P 11 山崎 晴生
- 村田 春樹
- P 12 長島 幸男
- 真家 功
- P 13 長津 智之
- 谷仲 和雄
- P 14 小川 賢治
- 鈴木 俊一
- P 15 石井 旭
- 香取 憲一

※質問順



安価で安心安全な命の水の確保を

推進方針を踏まえた広域連携についてさらなる検討を行う

福島 ヤヨビ



- Q** 水道の広域化が進められようとしているが、小美玉市の安心安全で安価な水道水のこれからの考え方について問う。
- A** 水道局長 「茨城県水道ビジョン」に基づき広域連携の検討調整会議で調査検討を行い、将来にわたって市民の負担が軽減されるよう慎重に検討する。
- Q** 猛暑日が続く中、避難所にもなる体育館にもエアコン設置の考えはあるか。公民館や保健施設などエアコンの不具合が多いが十分な対応はできているか。
- A** 教育部長 全国的に学校のエアコン設置は遅れているが、今後国の動向を注視し美野里中体育館は整備を検討している。公共施設の不具合も予算措置を検討し迅速に対応できるように考えている。
- 【要望】** 不具合保全のための財源確保にネーミングライツをしないので欲しい。
- Q** 3地区保健施設の窓口業務は確保されているか。子育て支援、高齢者支援の拠点を作ってほしいがそれぞれの支援策はどう進められていくのか。
- A** 保健衛生部長 3館等しく業務が進められるよう配慮していく。子育て支援はこども家庭センターを設け、高齢者支援も地域包括支援センター等で各課連携し、整備を整えていく。
- 【要望】** 窓口閉鎖の無いようリモート、オンラインなどでも対応してほしい。住民健診などは地域へ出向き実施できるように検討してほしい。
- Q** 国保税の均等割りの廃止を望む。特に赤ちゃんなど収入のない子供からは税の負担をなくすよう検討してほしい。
- A** 保健衛生部長 未就学児は国で5割減、小美玉市独自で18歳まで5割減免措置を行っている。廃止については慎重に考えていく。
- 【要望】** 赤ちゃんからは税金を取らないでほしい。
- Q** 小川総合支所にエレベーター設置を願う。3階の会議室の利用のためにもバリアフリーな施設であってほしいが検討されるのか。
- A** 市民生活部長 小川総合支所がだれにとっても利用しやすいよう、エレベーター設置に向けた取り組みを行っている。

将来を見据えた土地利用と生活道路の整備

税収の確保に努めながら事業を進める



島田 清一郎



Q 農地との住み分けを行い、定住人口の増加につながるような土地利用計画について伺う。

① 農業の振興政策について

② 企業誘致の状況について

③ 長期的な財政収入の見通しについて

Q 生活道路の整備について伺う。

A 産業経済部長

① 小美玉市農業振興地域整備計画により各地域での農地利用計画や保全計画、農家の営農促進

計画が定められている。

田園環境の保全を図りながら、人口減少と高齢化への対策を講じた、快適な集落環境の形成を図る。

② 第二次総合計画に基づき、茨城空港アクセス道路の周辺地域や茨城空港テクノパークなどに積極的な企業誘致を推進している。税制上の優遇措置や雇用奨励金の交付などを行い市内産業の振興と新たな雇用の創出を推進していく。

③ 土地利用計画等により

住環境の整備や企業誘致と産業の立地を進め、雇用環境の整備や移住、定住を促進し、長期的な財政収入として、安定的な税収確保に努めていく。

① 議会請願、区長要望道路の整備状況。

② 整備要望道路での災害発生状況。

③ 事業化の決定要因。

A 都市建設部長

① 旧美野里町では、300件あり、このうち未実施は117件、休止は15件ある。

② 令和5年6月2日の台風2号の豪雨で被災した道路は51件で、要望未実施路線は1件だった。

③ 事業化の優先度は、小美玉市道路整備指針に基づき、事業の必要性、重要性、緊急性、効率性の4つの観点を基本に、現地の利用状況や他の地域との公平性を考慮し、整備する路線を決定する。

整備する路線を決定する。

小美玉市の空の産業に対する市長の考え方は

実現性が向上し、成果が確実に得られる適切なタイミングで取り組んでいく



戸田 見良



空飛ぶクルマは小美玉市を飛べるのかについて

Q 空の玄関口を持つている小美玉市では、国の次世代空のモビリティの社会実装についてどう捉えているか。

A 市長公室長 空飛ぶクルマが実用化し普及すれば、救急救命医療、災害救助、観光レジャー等の様々な分野における活用が期待されるが、安全基準をはじめとする制度整備を進めている状況にあることから機体の安全性や信頼性の確保が必要であると考えている。

Q 朝日航洋株式会社の誘致の影響力は。

A 市長公室長 朝日航洋株式会社では、空飛ぶクルマ実現に向けて静岡県と連携協定を締結し、空飛ぶクルマ実現に向けた取組が行われているが、本市では国や先進自治体の実証実験などの取組状況を注視しつつ、まずは総合計画の基本施策である道路体系・公共交通の充実に向けた各個別施策を最優先に取り組み、空飛ぶクルマに関する提案があった際には、市民の安全性を十分に配慮する必要があることから慎重に検討していく。

Q 小美玉市の空の産業に対する市長の考え方は。

A 市長 空飛ぶクルマの実現性が向上し、社会実装の成果が確実に得られる適切なタイミングを見定めて取り組んでいきたい。

その他の質問

企業版ふるさと納税について

小美玉市移住定住の取組について

空飛ぶクルマは小美玉市を飛べるのかについて

Q 空の玄関口を持つている小美玉市では、国の次世代空のモビリティの社会実装についてどう捉えているか。

A 市長公室長 空飛ぶクルマが実用化し普及すれば、救急救命医療、災害救助、観光レジャー等の様々な分野における活用が期待されるが、安全基準をはじめとする制度整備を進めている状況にあることから機体の安全性や信頼性の確保が必要であると考えている。

Q 朝日航洋株式会社の誘致の影響力は。

A 市長公室長 朝日航洋株式会社では、空飛ぶクルマ実現に向けて静岡県と連携協定を締結し、空飛ぶクルマ実現に向けた取組が行われているが、本市では国や先進自治体の実証実験などの取組状況を注視しつつ、まずは総合計画の基本施策である道路体系・公共交通の充実に向けた各個別施策を最優先に取り組み、空飛ぶクルマに関する提案があった際には、市民の安全性を十分に配慮する必要があることから慎重に検討していく。

Q 小美玉市の空の産業に対する市長の考え方は。

A 市長 空飛ぶクルマの実現性が向上し、社会実装の成果が確実に得られる適切なタイミングを見定めて取り組んでいきたい。

その他の質問

企業版ふるさと納税について

小美玉市移住定住の取組について



▲空飛ぶクルマ（朝日航洋）



高齢者の方々の移動手段方法を充実させ安心できる生活を

様々な方法を調査研究し充実が図れるよう検討を重ねていく

山崎 晴生



Q 小美玉市コミュニティバス「おみたん号」の現状と課題、問題解決への取り組みはされているのか。

A 福祉部長 運行に係る経費は5,616万3,800円となっており、運賃収入は令和4年度が379万600円、収支比率は約7%である。平均利用者は増えているが、朝夕の通学ルートの利用者が圧倒的に多く、日中は1便平均1名にも満たないルートもある。利用者数を増やす施策として、バスの現在地が確認できるバスロケーションシステムの導入、市内循環バス以外の交通機関への乗り継ぎの向上を図るため、運行の見直しなどをやっている。

【提案】乗車率を上げ持続可能な事業にするために、自由乗降区間の設定、企業によるスポンサーバス停・1か月乗り放題プランの3つを提案し、タクシー券の枚数充実、市外タクシー会社の利用緩和、シニアカーの走行が安全にできるよう歩道整備を要望。

Q 小美玉市における障がい児に対する支援策の現状について。

A 福祉部長 障がい児のサービス利用は年々増加

傾向で今後も増加傾向が続く見込みであり今後市内におけるサービス事業所の定員数不足が懸念される。また障がい児支援体制の拡充や障がい児通所事業所でのサービスの質の維持、向上が課題。民間事業所との連携協定締結、児童発達支援センター設置に向けた調査・研究を進めていく。

【要望】障がい児支援に関して未就学の障がい児への支援が重要と考える。親が安心して相談できるよう市内6名しかいない相談支援専門員の充実を要望する。

Q 小美玉市の今後の福祉行政について。

A 福祉部長 医療・介護・障がい者それぞれの分野における重要性は十分に認識しており、第2次総合計画後期基本計画に位置づけられた事業を着実に実施しながら、誰もが生き生きと暮らせる社会づくりの基本目標達成に向けて、市民の声を反映し、関係機関と連携を図りながら課題に取り組んでいく。

【要望】高齢者や医療・介護従事者・事業所が辛く苦しい思いをせず、福祉に手厚い小美玉市になるよう要望する。

ニーズ調査をして、子育てしやすい小美玉市を！

調査結果のほか公共施設建築物系個別施設計画との整合性を図り、慎重に検討する



村田 春樹



Q 全て統括する児童館を支援拡充に向けて人口が密集している羽鳥地区への設置について検討できないか。

A 市長 現在改定を進めている第3期子ども子育て支援事業計画における子育て世帯へのニーズ調査での結果を踏まえるほか、公共施設建築物系個別施設計画との整合性を図り、慎重に検討したい。

Q ひとり親世帯に対する訪問支援などは行っているのか。

A 福祉部長 相談希望者には来庁だけでなく母子・父子自立支援員等が最寄りの公共施設や自宅等を訪問し相談に応じている。現在の体制での定期的な訪問は難しいが、来年度設置予定の子ども家庭センターの中の業務で対応していけると考える。

Q 一時的に家庭で保育が困難な子どもを預かる一時預かり事業の利用時間

は平日の昼のみとあるが、市の考えは。

A 福祉部長 土日の一時預かり保育は、今後重要な課題として認識している。保護者のニーズに応えられるよう調査結果をしっかりと分析して、今後の施策に展開していきたい。

Q 令和4年12月定例会で提案したAIバス導入の進捗、またマタニティ・子育てタクシーの進捗を伺う。

A 都市建設部長 AIや自動運転を利用したバスは、他市導入事例を参考に現在のコミュニティバス運行の課題を整理し、最新のAI技術を駆使した市民が利用しやすい仕組みを調査研究していく。また、マタニティ・子育てタクシーは、まず本市では、出産前後の妊産婦への支援としてタクシー料金の補助を検討している。近隣市町村の取組みを調査研究しながら事業化に向け調整している。

本市の地場産業は

本市創業のタカノフーズ(株)をはじめ、カゴメ(株)、横浜ゴム(株)などの製造業、広く捉えれば観光業、農畜産業も地場産業である



長島 幸男



Qどのような産業・業種があるか。

A 産業経済部長 本市に立地する企業として、本市創業のタカノフーズ(株)をはじめ、(株)ダイショー、(株)明治、一番食品(株)、カゴメ(株)など多くの食品製造業の他、横浜ゴム(株)、ペンてる(株)、(株)クレハなどの各種製造業及びこれらに関連する運送業も重要な産業となっている。

Q 観光資源について

A 産業経済部長 年間100万人の来場者がある茨城空港が一番の観光資源である。続いて、空のえきそ・ら・ら、霞ヶ浦沿岸地域とつくば霞ヶ浦りんりんロード、菜の花・こすもすの希望ヶ丘公園、花木センターなどがあり、各施設の来場者は、コロナ前の水準まで近づいてきている。

Q 農業について

A 産業経済部長 本市の主要特産物であるニラ、レンコン、生乳、鶏卵について、認定農業者の統計資料では、ニラ、43経

営体、作付面積119ヘクタール、収穫量3,315トン、レンコンは31経営体、作付面積は133ヘクタール、収穫量2,689トン、生乳、鶏卵の状況は、農林水産省の統計資料では、生乳が30経営体、5,427頭、産出額は46.1億円、鶏卵は、15経営体、鶏369万8千羽、産出額が77.5億円である。今後においては、市の特産物を他との差別化を図るなど市の認定する小美玉ブランドとしてつなげていくなど、安定的な農業経営基盤の強化を図っていく。

Q 市道外之内0269号線の道路改良整備(平成22年12月、3地区合同申請)について

【要望】申請から相当期間を要しており早期整備を要望する。

A 都市建設部長

未整備区間の整備について市道路整備指針に基づき、現地の利用状況や他の地域との公平性を考慮し事業化の判断をしていく。

「茨城空港を活かしたまちづくりについて」:TX茨城空港延伸、知事の発言「土浦に決定したが将来的な選択肢として残したい」を受け今後どのように動くのか

TXの土浦延伸の実現を待つのではなく、できるだけ早期に茨城空港へのTX延伸について議論していただけるよう、茨城県に働きかける



真家 功



Q今回一番重要なことは知事のコメントの中で「土浦に決定はしたが、茨城空港方面の延伸も将来的な選択肢として残した」とのことである。知事は、茨城空港案は土浦で延伸実績を作った上で、目指すのが望ましいと発言したとのことであるが、これらを踏まえ、茨城空港の地元小美玉市は、夢破れ諦めることなく未来に向け、引き続き、活動を続けるべきだと思いが見解を伺う。また、それらを踏まえどのような活動をしていくのか伺う。

A 副市長 本市としては、引き続き、茨城空港への延伸の実現に向け、空港の着陸制限の緩和等、関係機関に働きかけを行い、空港利用促進に取り組むことにより、空港を取り巻く状況の変化を起こしたいと考えている。なお、空港を取り巻く状況の変化が起きた場合には、TXの土浦延伸の実現を待つのではなく、できるだけ早期に茨城空港へのTX延伸について議論していただけるよう、茨城県に働きかける。次に、民航空機の着陸便数制限に対する今後の取組については、平成22年に開港した茨城空港は、開港前に国土交通省、防衛省、茨城県との間で合意事項が確認されている。その中に「1時間当たり着陸便数を当面1便が基本」と明記されている。そうした中、議員ご発言のとおり、TXの茨城空港延伸に向けて、茨城空港利用促進のために、民航空機の時間枠の撤廃または柔軟な運用による増便が必要不可欠と考えている。そのために、本年3月末に市長自らが浜田防衛大臣に対し、制限便数緩和等の要望書を提出いたしましたところである。

また、5月には県空港対策課とともに、国土交通省の航空局長に対して、防衛省への要望趣旨の報告とともに協力をお願いしたところである。今後とも、県と連携して、国に対し増便に係る柔軟な運用に要望してまいりたいと考えている。

【その他の質問】

空のえき「そ・ら・ら」について
妊娠・出産環境の体制づくりと支援策(不妊治療費個人負担分の支援)について



園部川河口周辺の堆積土砂の撤去を早急に！

堆積土砂の撤去に向けて国や県に要望書を提出した

長津 智之



大きな被害が発生した。Q 故障が発生した農業取水施設は玉里土地改良区の川中子地区城之内揚水機場だと思われるが、その後の土砂の

A 都市建設部長 台風2号等の大雨の際に、園部川河口付近に設置された、玉里土地改良区所管の農業取水施設で、取水ポンプが土砂流入により故障するという

Q ウェットランド内の小破堤の土地の堆積状況はどのようになっているのか。
A 都市建設部長 現在園部川河口付近に大量の土砂が堆積発生しており、堆積した土砂が湖面上に目視できる状況になっている。
Q 堆積土砂によつて豪雨の場合に農業施設や地域住民への被害が懸念されるが、6月の台風時にはどのような状況だったか伺う。

【要望】霞ヶ浦ウェットランド内の堆積土砂の撤去を一日も早く実施していただく様、国土交通省と茨城県に強く要望してほしい。

A 産業経済部長 ポンプ復旧に掛かる費用については、県央農林事務所を通して、国の災害復旧事業の要望を行い、現在は国庫事業の査定待ちである。

撤去や取水ポンプの修理などは、どのようになっているか。
A 産業経済部長 揚水ポンプの取水口に流入をした土砂については、既に撤去を完了している。また、故障したポンプについても補修が完了し、それぞれ機能に影響のない状態となっている。
Q 城之内揚水機場のポンプ修理等は既に終わっているとの事だが、補助金の見込みは。

こども家庭センター開設スケジュールは

児童福祉法の一部が改正される令和6年4月1日を目指す



谷仲 和雄



A 財務部長 本年度より総合計画の達成状況や成果について、これまでの内部評価に加え施策の外部評価を行った。評価結果を踏まえ、事業所管課において事業を検証し実施計画に反映することにより、行政評価、実施計画、予算編成が連動し、

Q 福祉専門職種の効率的な配置という観点から、施設一体型でのワンストップ相談支援の実施並びに子ども子育て分野においても連携調整を担うコーディネーターの存在が重要と考える。こども家庭センター開設までのスケジュールを問う。
A 福祉部長 母子保健機能と児童福祉機能の双方についてマネジメントができる統括支援員を配置し、小川保健センターを候補に施設一体型の方で令和6年4月1日開設を目指し準備を進めている。
Q 枠配分予算編成の今後、予算編成と行政評価の関係性について問う。

予算割り当ての優先度、施策に対する効果の低い事業の予算削減と優先事業への再配分が期待できる。
Q 旧小川小学校校跡地周辺と小川河岸跡の親和性を活かしたコンパクトシティ化を提案する。これに伴い、本田町公民館・本田町交差点から川岸町方面市道について導線として一体的な道路整備・維持管理が可能と考えるが、所見は。
A 都市建設部長 小河城跡周辺の小川市街地については、小川河岸の魅力を活かすため回遊性を持たせたエリアを検討している。



▲明治前半期の小川河岸（小川資料館）

おくやみデスクの運用は

令和2年度から実施、故人に関する手続きを一本化している



◀おくやみデスク



小川 賢治



Q 空き家対策推進事業について伺う。

A 市民生活部長 ①再利用に適さない空き家の費用の一部を補助することで、解体撤去を促す目的で「空き家等解体撤去補助金」を創設し、50万円を限度に解体費用の1/2の補助を開始した。

②「空き家活用支援補助金」は、空き家バンク登録物件を取得した際、50万円を限度に取得費用の5%を補助金として交付している。その他、再利用が可能な空き家を購入し、リフォームする場合、50万円を限度にリフォーム費用の1/2を、家財

1. 令和5年度の新規事業の進捗状況について

Q 窓口対応コンシェルジュの配置、おくやみデスクの運用について伺う。

A 市民生活部長 令和2年度から市役所全体の業務を幅広く紹介し、取り次ぎを行い市役所の案内役となる職員を配置している。また、おくやみデスクについては、令和2年度から実施、亡くなられた後の年金や、健康保険、市税に関する手続き、故人に関する手続きを一本化している。



▲旧羽鳥幼稚園

道具等を処分する場合、10万円を限度に費用の1/2を補助している。

2. 公共施設の最適化の推進について伺う。

Q 建替え、分庁舎の建設設計について伺う。

A 総務部長 6月上旬の豪雨等災害、電気料金等の高騰により、分庁舎の建設については市の財政事情を勘案した上、慎重に検討したい。

②解体：白河診療所、旧小川幼稚園、旧羽鳥幼稚園の進捗状況について伺う。

A 総務部長 白河診療所は、5月解体工事発注、10月末の工期内完了を見込んでいる。旧小川幼稚園は、10月頃入札、来年3月末の工事完了に向けて進めている。旧羽鳥幼稚園については、11月頃に入札、来年3月末の工事完了に向けて進めている。

国道6号バイパスの早期実現を

早期の計画決定に向け国や県等と連携を図っていく



鈴木 俊一



Q 市独自の定住促進を図るような奨学金は。

A 教育長 現在は、人物及び学業ともに優れ、経済的な理由により就学が困難な方を対象に、奨学金制度を行っている。1年以上小美玉市に居住し、要件を満たしている方に、高校が月額3万円、大学と専門学校が月額5万円、無利子で貸与している。

Q 市周辺には、三次救急医療施設がない。市の一部地域から三次救急施設へ30分以上かかっている。この解消のためにも、6号国道の4車線

Q ライフスキル教育については。

A 教育長 10年ほど前に美野里中学校で、ライオンズクエストの「思春期のライフスキル教育プログラム」を教育活動に取り入れていた。その講習を受けた教員が、生徒の実態に応じたライフスキル学習を行っていた。現在は行っていないが、道徳や学級活動、また総合的な学習の時間において、人間関係づくりや社会性の育成、キャリア教育などについての指導をしている。

Q 都市建設部長 一日も早く安全で円滑な交通が確保されるよう、引き続き国道6号小美玉道路の早期の計画決定に向けて、国や県、関係自治体と連携を図っていく。

Q 中学3年生の英検3級相当以上の英語力を有する生徒の割合は。

A 教育長 本市は34.7%である。令和9年度には目標値54%達成を目指す。

Q 公文書館の設立を。

A 総務部長 他自治体の動向を注視し、取組状況や運用について調査・研究を進めていく。

化を急ぐ必要がある。緊急時、災害時には緊急輸送道路となるが、東日本大震災時には6号国道に集中し、物資搬送の妨げになった。小美玉市は、通過交通量が多く、約8割が通過交通量である。しかし、2車線区間であるため1日1万7,800台、混雑度合いは1.44と高い。堅倉中央では慢性的に速度が低下し、中野谷中央では7時台で平均速度30キロ以下と速度低下が長い区間で発生している。市の見解は。



地域おこし協力隊員募集を再提案する

地域の活性化に向けて、来年度より、本制度を導入・活用していく

石井 旭



Q 総務省は、地方を元気にする使命として、地域おこし協力隊員数を令和8年度に1万人にする目標を掲げている。小美玉市での募集を再度提案する。

A 副市長 本年度、受け入れ準備として、地域における様々な課題やニーズを掘り起こす調査を行い、募集要項等を作成していく。さらに隊員受入後のサポート体制づくりも合わせて準備を進めたい。また、導入の際は、地域における様々な課題やニーズを掘り起こす調査の中で、隊員としての活動後も定住に繋がるような分野を整理し、本市に必要な人材像を明確にして、募集を行っていきたいと考えている。

Q 旧上吉影小学校跡地と温泉ことぶきを連携し、一部宿泊施設としての利活用を提案する。

A 都市建設部長 現在策定中の小美玉市新まちづくり構想では、温泉ことぶきの更なる利活用についても検討を進めており、市民向けサービスの充実を図ること以外に、来訪者を対象とした利用の拡大につながる多様な交流の創出や、農村地域への都市住民の誘引、スポーツ・レクリエーションを通じた交流の場、災害時の活動拠点等、マルチに活用できる場への検討を進めている。旧上吉影小学校の跡地は、引き続き利活用の検討を進め、温泉ことぶきの利活用は、旧上吉影小学校跡地などの周辺施設との連携も含め、新まちづくり構想等策定委員会で検討していく。

A 市長 旧上吉影小学校の跡地は、小美玉市学校跡地利活用基本方針に基づき検討を進めるとともに、小美玉市新まちづくり構想等策定委員会でも検討していく。

Q タクシー料金値上げへの対応、また、年内に使い切った方への対策として福祉タクシー券の増額を提案する。

A 福祉部長 タクシー券は1人あたり年度内42枚を上限に交付している。令和4年度実績で全部利用した方は395人で利用者全体の約30%であった。利用を終えた方への追加交付は行っていないが、拡充も含めたなかで検討していく。

A 市長 タクシー料金値上げは、移動手段のない高齢者にとって負担感の増は大きいものと考えられる。他自治体の事例を調査し、利用者状況を検証しながら、より充実した事業となるよう前向きに検討していく。

消防団員用アプリを活用し、火災現場での消火活動効率化を

更に情報を収集し、消防団活動により適した環境を整備していく



香取 憲一



Q 教員業務支援員（スクールサポート・スタッフ）と学習支援員の現状と課題について

A 教育長 スクールサポートスタッフは障害者雇用の促進と、教職員の負担軽減を図る事を目的として、現在6校6名が在籍し、学習支援員（水泳や書道）は3名が勤務している。国から予算と人員の増増計画が決定されたが、本市でも残り3校が未配置であり、現場の声や意見をしっかりと聞いて県にしっかりと繋いで、更なる教員の業務負担の軽減が図れる様要望していく。

Q 小川地区園部川流域の防災水害対策について

A 市民生活部長 小川地区園部川流域の水害を防ぐ為に公共下水道雨水幹線を整備し、旧園部川排水施設の排水ポンプ、自家発電施設があり、ポンプの作動により排水をアシストしている。雨水幹線の樋門（ひもん）は下水道課職員が開閉を行い、排水ポンプは自動で作動して、作動時に防災管理課職員の携帯電話に知らせが入り、停電時には自家発電機が作動する様になっている。排水ポンプからの水門開閉の判断と作業は、監視カメラと水位観測所でモニターし逆流のリスクが高まった場合は防災管理課職員もしくは消防職員が責任を持って行う。これらを踏まえて周辺住民の皆様がもしもの時に円滑な避難行動が行える様、情報共有と周知徹底を図っていく。

Q 水利の位置や火災現場の情報がスマートフォン上で共有できる消防団員用アプリの導入を提案する

A 消防長 消防団員用アプリはICTによる迅速な災害通知と現場情報の共有が実現され、その効果と有効性を認識している。今後本市においても、更に情報を収集し消防団活動により適した環境を整備していく。

【要望】 このアプリの費用対効果が検証され導入が実現した場合、将来的にバージョンアップされれば、火災現場だけでなく様々な災害対策での迅速な情報共有や、災害対策本部立ち上げ時の情報収集の要になると確信している。是非とも実現に向けて調査研究開始を要望する。

議員定数及び報酬は現状維持との結論を出す

9月定例会開催中の8月30日に議員定数等調査研究特別委員会を開催しました。

昨年9月の委員会設置から協議を続けていた議員定数と報酬について、各委員から意見を集約した結果を最終日の全員協議会で諮りました。結果については、下記のとおりとなりました。

● 定数 について

20名に10名が投票

→ 11/ 19（日）改選時は現状の定数20名
となりました。

18名に 7名が投票

● 報酬 について

現状維持に11名が投票

→現状維持の報酬となりました。

見直しに 6名が投票

なお、全員協議会では、欠員1名・欠席2名でありました。

【委員会内での論点の整理】

1. 議会（委員会）の権限・機能から見た定数
2. 人口・面積規模等による定数
3. 本市の現状及び課題並びに将来の予測及び展望の観点による定数



▲全員協議会の様子（9月19日）

市民の声

第1回おみたま花火大会の件、
大井戸湖岸公園メイン会場での花火大会が事故なく盛大に行なわれるのを楽しみにしています。実行委員の方々お暑いなか、御苦勞様です。そして大会の成功と知名度向上を期待します。（田木谷・T）

市議会だよりを読ませて頂き、
議会の様子、活動がよくわかり、これから増々の市の発展を期待します。頑張ってください。（小川・N）

国道6号バイパス早期
完成期待しております。
（高崎・S）



市民の声

応募用のQRでは応募できませんでした。改善してもらえると応募しやすいです。（西郷地・T）

一般質問では、子ども達と家庭の問題に関心を持ちました。よい結果が導かれること宜しく願います。（高崎・I）

毎年、8月の終わりに希望が丘で行われていた、ふれあい祭りがなくなってしまったのが残念です。花火大会も場所が遠すぎてもっと近いほうがよかったです。（堅倉・I）

たくさんのご意見、ご感想
ありがとうございました。

プレゼントクイズ休止のお知らせ

空のえきそ・ら・ら「フードコートレストランかぐや」の閉店に伴い、
今号につきましては、プレゼントクイズを休止させていただきます。

◆第68回クイズの正解：問① 6 問② 13 問③ 30

「三ない運動」を徹底しましょう

「三ない運動」とは、公職選挙法で禁止されている、政治家の寄附は禁止（贈らない）・政治家の寄附を求めない・政治家の寄附を受け取らないという3つの運動です。

政治家が選挙区内の人に金銭や物を贈る行為や、有権者が政治家に寄附や贈り物を求める行為も公職選挙法により禁止されています。

一人ひとりが寄附禁止のルールを守り、明るい選挙を実現しましょう。



※政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。

会議録検索システムをご利用ください

市議会のホームページから会議録を簡単に閲覧・検索できます。「会議録の閲覧・検索」をクリックすると検索画面に移ります。日付や気になるキーワードなどを入力すると簡単に検索できますので、議会で何が議論されているかぜひご覧ください。



本会議のライブ中継や録画映像が視聴できます

インターネットによる映像配信を行っています。パソコンやスマートフォンから視聴できますので、ぜひご利用ください。



ライブ中継

LIVE が表示されている会議を選択し、ライブ中継をご覧ください。

録画映像配信

インターネット中継を行った過去の本会議をご覧ください。

会議名から検索

会議を指定して、録画映像をさがすことができます。



議員名から検索

議員を指定して、録画映像をさがすことができます。



常任委員会活動報告

総務 総務常任委員 5名
参加者 委員4名

期 日 令和5年7月5日(水)～6日(木)

視察内容 ◆ 消防団活動のICT活用によるサポートについて(福島県須賀川市)
福島県須賀川市では消防団活動においてICTを効果的に活用し、ICTを消防団活動に取り入れることにより災害時における迅速な収束活動を実現し、地域防災力の向上に繋げている。そこで、取り組み内容や具体的な成果、課題などについて研修した。

◆ 空家対策と移住定住について(栃木県栃木市)
空家対策として、補助制度の導入や空き家、空き地バンクの取り組みを行い、空家対策及び移住定住に向けた取り組みを行っている。そこで、取り組み内容や具体的な成果、課題などについて研修した。



文教福祉 文教福祉常任委員 7名
参加者 委員5名、議長

期 日 令和5年7月4日(火)～5日(水)

視察内容 ◆ 子育て健康プラザ事業について(岐阜県可児市)
可児市は、子育て支援機能を中核とした健康づくり機能と広場機能による「にぎわい・出会いの場」の創出を目的に、子育て支援のワンストップサービスなどを展開する子育て健康プラザ事業を実施している。そこで、運営体制や経費、利用しやすい環境づくりなどについて研修した。

◆ 不登校支援について(岐阜県各務原市)
小美玉市教育振興基本計画において、「教育相談体制の充実・強化」が基本方向として示されるなか、本市の支援体制の充実をさらに図ることを目的に、不安や悩みを抱える児童生徒の居場所や学習支援につながるよう、不登校児童生徒への支援拠点である適応指導教室の求められる役割や機能などの支援体制について研修した。



産業建設 産業建設常任委員 6名
参加者 委員4名

期 日 令和5年7月31日(月)～8月1日(火)

視察内容 ◆ 三笠ジオパーク関係の取り組みについて(北海道三笠市)
北海道三笠市は豊かな歴史と資源を総合的に活用し、三笠ジオパークを核とした地域づくりを目指す中、地域経済の活性化及び文化の発展に寄与することを目的とした取り組みを行っている。そこで、認知度の向上や運営主体、経済効果等のほか観光や教育の取り組みについて研修した。

◆ ポールパーク誘致の経緯について(北海道北広島市)
北海道北広島市は官民一体となった機運の醸成や市民理解及び市民参加の促進、北海道日本ハムファイターズや近隣市町村等と連携した食の魅力発信を図ること等を目的とした取り組みを行っている。そこで、誘致活動の経緯や行政サポート、連携事業等について研修した。



百里基地対策特別委員会活動報告

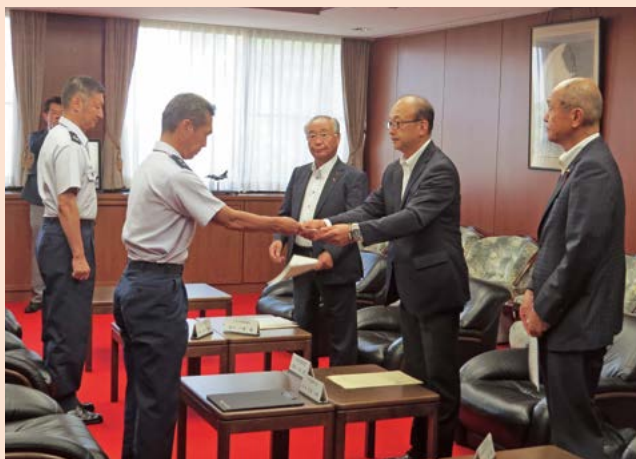
令和5年7月19日、百里基地対策特別委員会において市長、議長、百里基地対策特別委員会委員長とともに百里基地にかかわる周辺対策について、北関東防衛局に陳情を行いました。

基地所在による住民生活への影響、不利益や障がいや踏まえ、基地に起因する諸問題について説明し、地元の実情を理解し周辺対策の一層の充実が図られるよう強く訴えました。



▲防衛省北関東防衛局長に陳情書を提出

令和5年8月25日、百里基地対策特別委員会において副市長、議長、百里基地対策特別委員会委員長とともに百里基地司令に対して、引き続き基地訓練や飛行時間帯の自粛を求めるとともに、基地に関する事故等の速やかな連絡と原因調査結果の報告について、飛行場周辺の地域振興策を進めるため、茨城空港の路線拡大に係る便数制限の緩和、そして基地航空祭行事の交通渋滞対策による周辺地域への適切な対処についてなど、今後の運用について配慮を求める申し入れを行いました。



▲百里基地司令に申し入れ書を提出

永年勤続議員表彰

全国市議会議長会および茨城県市議会議長会から表彰を受けられた議員に表彰状の伝達が行われました。議員が永きにわたり市政発展のために尽くされ、その功績が認められたものです。今後も一層の活躍が期待されます。

全国・茨城県市議会議長会表彰
議員在職 25 年以上 荒川 一秀



議会報告

小美玉市議会では、議会活動について市ホームページに掲載しました。

また、市内の主な公共施設等にも設置しておりますのでご覧ください。

市民の皆様からのご要望やご意見がございましたら、市ホームページまたは、メール・FAXにてご意見をお寄せください。



12 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1 本会議	2
3	4	5	6 本会議 (議案説明 等)	7 議案調査	8 議案調査	9
10	11 議案調査	12 議案調査	13 本会議 一般質問	14 本会議 一般質問	15 本会議 一般質問	16
17	18 常任委員会	19 常任委員会	20 常任委員会	21	22 本会議 (報告、採決)	23

次の定例会は
12 月 1 日 (金) 開会予定

*議場(市役所本庁舎 3 階)での傍聴には、簡単な受付(氏名・住所等の記入)が必要です。

*委員会等の詳しい日程については、12 月 1 日(予定)に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

*市ホームページから本会議の様様をインターネット配信をしております。パソコン・スマートフォンからご視聴できます。また、本庁舎、小川総合支所、玉里総合支所 1 階ロビーに設置されている TV モニターでもご自由にご覧いただけます。(受付不要)

会議の種類	傍聴	モニター中継
本会議	可	有
委員会	要確認	無

編集後記

「常識を覆す活動を」

この夏は「常識」について、考えさせられた。夏の甲子園大会で 107 年ぶりの優勝を果たした慶応高だ。森林監督は決勝戦後、「日本一を目指し、常識を覆すという目標に向けて頑張ってきた。高校野球の新しい姿につながるような勝利だったのでは」と投げかけた。エンジョイ・ベースボールを掲げ、選手の髪型は自由。「野球は上から押しつけるものではない」との精神から、練習では全てを教えず「余白」を残し考えさせた。

小美玉市議会の中にも常識を覆す個性豊かな議員さん、沢山おります。これからの時代を乗り越えるための常識を覆す意見・行動の個性あふれるメンバーの市議会広報をさらに市民のみなさんに届けたいと願います。みなさんの市政への関心やご意見も常識を覆す力となりますので、いつでもお問合せください。

発行編集責任者
広報特別委員会

議長 荒川 一秀
委員 長 戸田 見良
副委員長 香取 憲一
委員 鈴木 俊一
委員 島田 清一郎
委員 長津 智之
委員 真家 功

